

福祉サービス第三者評価 評価結果

明德釜利谷保育園

〒236-0045 横浜市金沢区釜利谷南 4-29-4

運営主体：社会福祉法人 明德福祉会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～13 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	14～21 ページ
利用者本人調査分析	22～23 ページ
事業者意見	24 ページ

2007年5月21日 公表

評価機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	社会福祉法人 明德福祉会 明德釜利谷保育園		
報告書作成日	2007年5月21日	評価に要した期間	約6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:06年11月15日 ~07年1月31日</p>	<p>春に、法人3園で、第三者評価受審に向けての勉強会を立ち上げ、園の第三者評価の担当者を主任保育士と決めた。その上で、園の全職員で2度、自己評価票に記入を行うなど事前の勉強を進めた。</p> <p>常勤・非常勤を含む全職員が、個別に自己評価票に記入した。各個人が記入した自己評価票を元に、各クラスで検討を行って一つにまとめた。</p> <p>最終的に、園長と主任保育士が協議・合意してまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:06年12月1日 ~12月15日</p>	<p>全利用者（園児）の保護者（96家族）へ、事業者（園）から手渡し。</p> <p>各保護者より、同封の返送用封筒にて評価機関宛に、無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 07年3月19日 第2日 07年3月22日</p>	<p>第1日午前中は、各クラスの保育観察。</p> <p>昼食は3、4、5歳児と一緒にランチルームでいただいた。</p> <p>午後は書類調査と保育観察、および園長・主任に面接調査を実施した。</p> <p>第2日午前中は、各クラスの保育観察と書類調査。</p> <p>昼食は3、4、5歳児と一緒にランチルームでいただいた。</p> <p>午後は書類調査と、栄養士・各クラスリーダー7名に面接調査。その後、園長・主任に面接調査を実施した。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 07年3月19日 第2日 07年3月22日</p>	<p>観察調査は、園内および戸外（園庭・公園・散歩に同行）にて実施。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児以上を中心に、保育中および食事に実施。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

「明德釜利谷保育園」は、京浜急行線「金沢文庫」駅よりバスで 15 分、自然環境に大変恵まれた住宅街、釜利谷パークタウンの中に、平成 14 年（2002 年）4 月に開園した新しい保育園です。

運営主体は「社会福祉法人明德福祉会」で、南区に「明德乳児保育所」、旭区に「明德二俣川保育園」の運営も行っています。0～5 歳児まで定員 90 名ですが、現在の園児数は 120 名、職員数は、常勤・非常勤を含む 34 名となっています。

園舎は鉄筋コンクリート 2 階建て、全ての保育室が南向きに大きく窓をとった、明るく開放的な作りになっています。園庭には 1 階の保育室からすぐに出られるようになっています。各保育室には空調設備や飲料用給水器、玩具の滅菌ケースなどを設置し、更に冬季には加湿器を使用する他、夏季には園庭に紫外線除けのシートを張るなど、子どもたちが快適に、健康に過ごせるように、考慮された設備となっています。

高く評価できる点

1．子ども達は豊かな自然の中で、元気一杯、かつ社会性を身に付けて育っています

当園は、自然に囲まれた住宅街の中にあり、近くには整備された大きな公園がたくさんあり、子ども達は毎日、散歩に出かけています。2 歳児にもなると、かなりの距離を歩けるようになっています。公園ではブランコ、シーソー、鉄棒でも遊びますが、かけっこ、ドッジボールと公園の広さを一杯に使っての遊びも楽しんでいます。

朝のコーナーでの自由時間は子ども達のがのびのびと、自分の好きな遊具を使って、友達と遊べる時間帯です。子ども達は元気一杯、園生活を楽しんでいます。保育室では保育士の合図で自然と静かになって、話しを集中して聞いています。また、散歩の行き帰りは、きちんと手をつないで、道路を横切るときは保育士の指示に従って、まとまって渡っています。集団の中でのルールが良く身についているようです。

保育目標の「基本的な生活習慣を身につけ、集団の中で元気な身体、考える頭、愛する心を育てます」が実践されています。

2．職員のチームワークで質の高い保育が実践されています

保育園経営についての高い見識と豊富な経験をもつ園長のリーダーシップのもと、質の高い保育に向けて取り組んでいます。保育に関わる諸事項はマニュアルの形に整備し、全職員に配布・周知して、実践しています。

今回の第三者評価の受審にあたり職員全員で幾度かの勉強会を持ち、振り返りと気づきにより改善が行われています。子どもの自主性を伸ばすための工夫として、外廊下にコーナーを設けたり、園の各所に絵本コーナーを作るなど、取り組みを行いました。保育・個人情報の IT 化と電子決済システムもその一環になります。

更に、職員の資質向上・モチベーション向上のための新しい管理手法の採用にも着手しています。

これらの取り組みを、主任を中心にした職員のチームワークの良さが支えています。保育士は、その日の出来事について、フリーの立場に居る主任にすぐ情報を伝えます。主任は適宜、関係職員による話し合いの場を設け、対応策をまとめ、同時に情報を共有しています。また、昨年 10 月には内部研修として、全保育士が交代で、主任保育士と一緒に、園全体を半日客観的に見てまわることで、自分たちの日常の保育をお互いに振り返る体験研修も行いました。

園長のリーダーシップ、職員のチームワークが質の高い保育を実践に結び付けています。

3. 保育・個人情報の IT 化と法人 3 園をつなぐ電子決済システム

法人 3 園をつなぐネットワークを組み、電子決済システムを導入しています。これによって保育士からの各種報告や保護者からの要望などの報告が、保育士、主任、園長、理事長へと迅速に行われています。3 園共通の様式を使い、保育内容・個人情報の IT 化を推進することで、職員間の情報共有と事務処理の効率化に役立てています。子どもたちに関わる各種の情報（指導計画・面談記録・健康記録など）をデータ登録し、個人データは園ごとに、職員誰もが必要な時に必要な情報を見ることができ、保育に反映させることができます。当園では、法人内でも先駆けて取り組みを始め、システムは着実に職員に定着し、活用されています。保育や運営に及ぼす影響に加え、ペーパーレスによるコスト削減などの効果もあり、注目すべき取り組みです。

4. 地域コミュニティへ積極的に働きかけています

当園は、設立した当初から、地域コミュニティへの働きかけには多くの努力を重ねてきました。

散歩先の公園の掃除から始めて、現在は、地域の自治会の会合へ園長又は主任が出席して積極的に地域との交流を図っています。自治会の最大の行事である秋まつりには、模擬店「やきそばコーナー」の手伝いに参加し、保育士と栄養士が自慢の腕をふるっています。この秋まつりには、園の備品である調理器具を貸し出したり、まつりのポスターをラミネートして、園の掲示板に掲示したりして、広報にも協力しています。

園は、「地域社会への連携と貢献」を重点項目として掲げ、取り組んでいます。本年は、地域福祉コーディネーター養成研修等へ保育士が複数参加し、地域活動への理解を更に深めています。

改善や工夫が望まれる点

1. 質の高い保育実践を活かし、地域のニーズに応じた子育て支援の推進を

地域においては、当保育園は唯一の子育て関連の組織に位置づけられています。園は自治会の会合に出席し、職員は地域のお祭りに参画するなど、地域との結びつきは強く、散歩中にも地域の人と園児たちは挨拶を交わし、温かい言葉がかけられています。地域で開催されている幼保小会議には必ず出席して他の保育園や幼稚園等と連携し、また、区社会福祉協議会などとも連携を図っています。昨年からは一時保育を始め、本年は育児講座を開催しました。

今後、地域の関係機関などとの情報交換を更に推進して、地域のニーズに応じた子育て支援について検討し、当園の持つ質の高い保育実践を活かした、子育て支援に取り組むことが望まれます。

2. 保護者との、より一層の連携・交流の充実を

開設以来、保護者懇談会や、個別面談、保育参観や保育参加、登降園時の話し合いのほか、昨年度は行事に関するアンケートの実施など、保護者との相互理解に努めて来ました。

保護者への情報誌としては、毎月の“めいとくだより”、“乳児のうた・幼児のうた”“今月のレシピ”などのほか、季刊誌として“めいとくだより特別号”などを発行しています。特に季刊誌は、各クラスにおける子ども達の育ち行く姿が生き生きと描かれています。保護者会も会報“めいとくっこ”を発行して園の情報を伝えています。

開園から 5 年が経ち、新園長のもと、保護者との連携・交流には種々努めています。利用者家族アンケートからは、保護者の園に対する高い安心感、信頼感がうかがえますが、同時に、保護者からは懇談会や個別面談のあり方についてや、送り迎えの際の子ども様に関する説明について、改善の要望が出されています。駐車場の関係で登降園時の話し合いの時間が十分に持てないなど、保護者の居住地や勤務関係なども影響しているかと考えられます。

今後、保護者とのコミュニケーションについて更に工夫し、より一層の連携・交流が望まれます。

評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1、人権の尊重

- ◇ 保育理念「『生きる力』を育てます」や保育目標「基本的な生活習慣を身に付け、集団の中で“元気な体・考える頭・愛する心”を育てる」は、子ども本人を尊重したものになっています。
- ◇ 守秘義務の遵守、個人情報の取り扱いについての規程があり、全体会議において全職員で読み合わせをして重要性を認識し、実践しています。
- ◇ 児童虐待の定義や関連の資料が全職員に配布・周知されています。虐待が明白になった場合や、疑わしい場合にも、関係機関との連携が取れる体制になっています。

2、意向の尊重と自立生活支援への支援に向けたサービスの提供

- ◇ 保育理念や保育目標は、子どもの個性を尊重し自主性・主体性を育むものになっています。園では子どもが主体的に活動できる環境構成ができています。子どもの力を信じ温かく見守る姿勢で、子どもが友だちと一緒に育ちあい、自分の思いを表現でき、基本的な生活習慣を身に付けられるような環境づくりを目標として保育を行っています。
- ◇ 子ども達は、日々の散歩を通して地域の人々と交流しています。また、釜利谷地区センターや金沢自然公園・動物園の利用、釜利谷南小学校との交流会などを通して、地域との交流を深めています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、保育理念や保育目標に基づき、保護者の実情にも配慮して作成しています。更に地域との連携状態も考慮して作成しています。
- ◇ 指導計画の作成・評価・見直しにあたっては、職員会議・カリキュラム会議・毎日のミーティング等を通して、全職員が関わり、子どもの状況に応じて柔軟に対応しています。
- ◇ 第三者委員に直接苦情を申し立てることができるよう、保育園のしおりに記載しています。また、玄関に意見箱を設置して書面での要望・苦情の申し入れに備えています。昨年は保護者アンケートを行い、意見・要望を収集し、運営に反映させました。
- ◇ 健康管理、衛生管理、安全管理等に関する各種マニュアルを整備して、全職員に周知徹底を図っています。事故や災害に対する緊急連絡体制も確立しており、避難訓練も定期的実施しています。
- ◇ 運営法人として系列3園に共通のマニュアルを整備しています。更に、共通マニュアルを基に園独自のものも作成・整備しています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスとして、月2回の園庭開放、一時保育、育児講座などを実施していますが、相談事業を通じて地域の子育て支援ニーズを把握する段階までには至っていません。
- ◇ 地域の自治会会合には園長又は主任が出席して、地域との情報交換をしています。更に、自治会の行事（秋まつり）では模擬店の手伝いに毎年参加しています。
- ◇ 区福祉保健センター、南部地域療育センター、区社会福祉協議会など地域の関係機関とは、密接な連携を維持しています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 事業者として守るべき法・規範・倫理等は職員マニュアルに明記し、職員に周知徹底を図っています。また、園長は重要な意思決定にあたっては、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり、説明する仕組みを取り入れています。
- ◇ 保育の理念や保育目標等について職員マニュアルに明記し、職員に周知徹底を図っており、職員はその実践に努めています。
- ◇ 園長は事業運営に影響のある情報を収集・分析し、外部環境の変化に対応して、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 人材育成は、職員の要望も考慮した研修計画に基き、園内研修を実施し、外部研修へも積極的に参加しています。また、他園の園長による指導も受けています。
- ◇ 職員は、個々に資質向上に向けた目標を毎年定め、年2回の園長面接を通して達成度の確認・評価を受けています。
- ◇ 実習生受け入れの体制が出来ており、受け入れマニュアルも整備しています。実習生には、クラスリーダーが担当となり、指導を行っています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある


評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の理念や基本方針は、子ども本人を尊重したものになっており、職員は会議・研修を通して理解・を深めています。また、明文化された保育の理念や方針は、園内に掲示され、職員必携の「業務マニュアル」にファイリングされており、職員は日々振り返り、その実践に努めています。 ・保育計画は、保育の理念や基本方針に基づき、保護者の実状も考慮して作成しています。更に、地域との連携状況も加味して作成しています。 ・日々の保育を通して、子どもの意見や意思を汲み取り、毎月のカリキュラム会議や指導計画会議で子どもの様子を話し合い、翌月の指導計画に反映させています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園に際して保護者と面接を行うとともに、保護者から提出された児童票により、子どもの発達状況や課題等を把握しています。面接の際に子どもが一緒の場合は、状況を観察し記録しています。これらの情報は全職員が確認・共有し、日々の保育に反映しています。 ・新入園児の受け入れにあたって、必要な場合には短縮保育（ならし保育）の実施、子どもが心理的なよりどころとするぬいぐるみ等の持込みができる等の配慮をしています。 ・子どもの生活が家庭と保育園とで無理なく引き継がれるよう、0～3歳児については全員、通信用個人ノートを使用して保護者へ丁寧な連絡を行っています。4,5歳児についても個人ノートがあり、必要に応じて使用しています。 ・子どもの発達や状況について随時、職員間で話し合いをもち、情報を共有しながら、指導計画の作成・評価・見直しを行っています。

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎は、木を基調とした温かみのある作りとなっており、保育室は全て南向きで明るく、清潔感にあふれ、採光、照明等、子どもが快適に過ごせる環境となっています。空調設備が完備され、換気もこまめに行い、室内の温・湿度は快適に管理されています。 ・沐浴設備、シャワーなどの設備も完備されており、「清掃マニュアル」に沿って清掃・管理が行われています。 ・コーナー遊びの空間を複数個所設置することで、多様な小集団保育に対応しています。コーナーの配置は子どもの様子・状態によって変化させることができ、おもちゃは定期的に入れ替えています。 ・子どもの個々の行動、活動の流れを把握しながら異年齢児間の交流の場を設けています。0,1,2歳児が3,4,5歳児のいる1階へ降りてきてコーナー遊びを行ったり、また反対に、3,4,5歳児が0,1,2歳児のいる2階に上がって行って、一緒に遊ぶなどの機会を設けています。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しています。個別指導計画の作成・見直しは、各クラス代表者が出席する月間指導計画・個別指導計画会議で行っています。 ・日常の個々の子どもの様子（気になる事項や、達成事項等）は、日誌に記録しています。また、事柄により、個別指導計画や児童票へも記録しています。 ・個別の情報は、職員会議や伝達ノートにより、また、独立ネットワーク上で、閲覧できるようになっており、全職員に周知されています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。職員会議や伝達ノートを通して、情報を職員間で共有し、必要に応じて区の福祉保健センターなどと連携がとれる体制となっています。 ・障がい児保育のための環境を整備し、保育内容についても配慮を行っています。 ・アレルギー疾患のある子どもへは、かかりつけ医の指示を受け、適切に対応しています。食物アレルギーに関しては代替食・除去食の提供を行っています。 ・文化や生活習慣の異なる子どもに対しては、生活習慣や考え方の違い等を認め、尊重しあうよう、子ども達に理解させており、適切な配慮がされています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に配布する「保育園のしおり」に2名の第三者委員の氏名を記載し、玄関には第三者委員の連絡先を掲示しており、保護者から直接苦情を申し立てることができます。また、玄関には意見箱も設置して、保護者からの要望・苦情等を受け入れるようにしています。 ・「苦情解決マニュアル」により、要望や苦情等を受け、迅速に対応できる仕組みとなっています。また、過去の苦情・トラブル等に関するデータは蓄積・整理して職員に周知して解決に活かし、また、園の運営にも反映させています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃや教材は、写真が貼られた低めの棚に収納され、子ども達が自分で取り出しやすく、片付けやすくなっています。 ・保育室には明るい色のマットや畳のスペースがあり、ついたてや仕切り板を利用してコーナーが作られています。また、保育室に隣接した広めの廊下にもコーナーを設け、朝夕の自由時間には、絵本・ままごと・お絵描き・粘土・輪投げ・ブロックなど、子ども達は好きなおもちゃを自分で選んで遊んでいます。保育士は、遊びが発展するように、さりげない援助や声掛けを心がけています。 ・一斉活動の中でも、鬼ごっこやドッジボール等で、子ども達が考えたルールを取り入れて柔軟に変更して遊ぶなど、子どもの自由な発想を大切にしています。また、幼児は4月より、週1回、外国人の先生と英語遊びを行っています。 ・園庭には、チューリップなどの草花や、大根・ゴマ・枝豆・小松菜などの野菜を作り、収穫後は食育の一環としてクッキングの時間に使用しています。また、めだか・えび・どじょうを飼育観察し、絵に描くなど保育活動に生かしています。 ・園の周りには多数の公園があり、毎日散歩に出かけ、四季折々の自然や、地域の様子の変化に触れています。途中で出会う地域の人たちと挨拶を交わしています。 ・年齢別に、リトミックを取り入れ、子ども達はピアノに合わせて体を動かし、表現しながら、集中力や手先の運動、聞く力などを総合的に養っています。 ・子ども同士のけんかについては無理に引き離して止める事はせず、見守りながら自分達で解決するように援助しています。乳児の場合は言葉で言えないことも多く、保育士が代弁し、言葉で表現できるように声掛けしています。 ・朝夕の自由遊びの時間は、異年齢の子どもが一緒に遊び、年下の子を思いやったり、年上の子に遊びを教わる姿が見られます。そのほか異年齢児交流の日を月に数回設けて、良好な人間関係が育つように配慮しています。 ・園庭では逆上がり器具を使用して鉄棒に取り組み、室内でも定期的に平均台やマットなどを使い、発達段階に応じて運動能力を高められるような環境を作っています。

- 1 保育内容[生活]






- ・食事は、完食できた達成感を味わう事ができるように、子ども達が食べられる量に応じて保育士が盛り付け、食べ切れなくても強制したり叱ったりする事はありません。
- ・食事のときは、乳児においては最初は手づかみでも、できるだけ自分で食べる意欲を大切にしながら見守るようにし、幼児についても温かい声掛けをしています。
- ・栄養士は食事の前にメニューを読みあげ、クイズをして、子どもに食への興味を持たせるようにしています。また、毎月クッキング(年齢に応じた調理実習)の日を設け、サンドイッチ・おにぎり・茶巾絞り・みたらし団子・わらび餅・スイートポテトなどを自分達で作って、楽しみながら食の大切さを体験しています。
- ・献立は季節の食材を積極的に取り入れ、食材の彩りも工夫しており、恵方巻きなどの行事にちなんだメニューもあります。
- ・食器は、食材毎に大きさの違う陶器の食器を準備し、箸は子どもが使いやすいように六角の箸を使用し、子どもの発達に合わせています。
- ・毎月の献立表は、普通児用とアレルギー児用があり、それぞれの栄養量も記載して、保護者に配布しています。
- ・午睡時は入眠しやすいようにカーテンを引き、0、1歳児は静かなオルゴール曲を流し、傍に付き添って軽く背中をトントンする等しています。0歳児は、SIDSを防ぐために10分おきに呼吸を確認し、記録しています。また、眠れない子どもに午睡を強要する事はありません。
- ・トイレトレーニングは子どもの発達の状況に合わせて個別に始めています。園での排泄の状況を保護者に知らせ、保護者と連携をとりながら、自立に向けて急がず柔軟に対応しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、一人ひとりの健康状態を把握しています。
- ・入園時には保護者に児童票の記載をお願いし、それにより出生から現在までの健康状態を把握して、継続的に関わるようにしています。日々の記録は、必要に応じて職員が見ることができる状態となっています。
- ・園での子どもの様子は個人ノートに記載する他、降園時に口頭で保護者に伝えています。体調不良で休んでいた子が登園した時は食欲や、体調、家での様子などを細かく聞いて、伝達ノートに記載し、職員間で情報を共有し対応しています。
- ・一人ひとりの健康診断・歯科健診が実施されており、その結果を保護者に伝え、必要な場合は受診を勧めています。
- ・食後の歯磨きは、3歳児以上は各自で磨きます。2歳児以下は食後にお茶や水を飲み、口腔内を清潔に保ち、0、1、2歳児は保育士が仕上げ磨きをしています。
- ・感染症に関するマニュアルがあり、保育中に発症した時は速やかに保護者に連絡し、すぐ迎えに来られない保護者には、様子を電話で報告しています。
- ・感染症が発生した時は、その状況を各クラス及び玄関の掲示板に貼り出し、潜伏期間、登園許可書の必要性も表示しています。



<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルがあり、定期的に見直しています。 ・職員会議では衛生管理に関する話し合いが行われており、定期的に勉強会も開かれ、職員に周知されています。 ・衛生管理マニュアルに沿って清掃をしています。「掃除チェック表」があり、拭き掃除・便器拭き・床磨きなどの清掃状況を日々確認しています。玩具も、消毒し洗って干して滅菌庫に入れるなど、衛生に配慮しています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害時の対応が記され、全職員に周知しています。 ・職員全員が救急救命法を身につけています。 ・園と保護者の緊急連絡体制が確立しています。救急機関の連絡リスト、自治会作成の地域との連絡網もあり、すぐ活用できるようになっています。 ・子どものケガは、どんなに小さなケガでも保護者に伝え、通院・軽傷ともに伝達ノートで職員全員に周知しています。通院の場合は「事故報告書」に記載し、月ごとに「月間事故報告書」を作成し、職員会議で話し合い、再発防止に努めています。 ・玄関の自動ドア、門、駐車場は時間を決めて施錠されています。不審者対応の「カラーボール」が事務室前に用意しており、職員全員が笛か防犯ブザーを常時携帯しています。 ・緊急通報システムが導入されており、発生感知時は警備会社が来園し、対処する体制になっています。
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの話しかけは、常に穏やかで分かりやすい言葉を選び、せかしたり強要する事はありません。 ・幼児では、保育室や廊下に配置されたコーナースペースに、子どもが一人で入って過ごせる空間があります。乳児は、友達や保育士に関わりたいという意識が育つ時期であり、安全性を考慮する意味でも、あえて友達や保育士の視線を意識しない場所は作っていませんが、ついたてや仕切りを利用し、必要に応じて対応しています。 ・守秘義務の遵守と、個人情報の取り扱い、また、電子データの取り扱いに関して規程があり、全体会議において職員全員に周知しています。また、ボランティアや実習生には、それぞれのマニュアルに記載して周知・説明しています。 ・児童虐待の定義は、全体会議を通して全職員に周知され、虐待が疑わしい場合には、関連機関と連携が取れるようになっています。また、家庭支援が必要な場合は、個別に話し合うようになっています。 ・グループ分けや並び順、遊びや行事の中で男女を区別するような対応はしていません。

- 4 保護者との交流・連携






- ・保護者には、入園説明会や園だよりで、また、年3回の懇談会等で保育理念・保育内容を説明しています。
- ・保育士は、伝達事項が記載された伝達ノートを利用し、子どもの1日の様子を漏れなく保護者に伝えるようにしています。
- ・保護者の要望に応じて個人面談を実施しています。日常の保護者からの相談は担当が受けていますが、園長が同席し話しを聞くこともあります。
- ・クラスごとに年3回懇談会を開催し、保育内容や目的について、保護者に説明しています。
- ・園での子どもの様子は、毎月「えんだより」で保護者に知らせています。他に季刊の「めいとくだより・特別号」があり、クラスごとに“散歩・食事・排泄・遊び・発達・栽培”などの項目に分けて、子どもたちの様子を詳しく紹介しています。給食だより、保健だよりも配布され、掲示板や玄関のお散歩マップでも、その日の活動を具体的に伝えています。
- ・年1回保育参加・参観を実施しています。保育参加は、より多くの保護者に参加してもらうために土曜を含む3日にわたり行われ、ほぼ全員の保護者が参加し、園内での子どもの様子がわかると好評です。
- ・保護者会があります。また、運動会・お楽しみ会等行事には、保護者有志が運営サポーターとなり、参加しています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会の会合には、園長が主任が出席しており、その中で園に対する要望を把握しようと努力しています。 ・月2回の園庭開放の時には園長・主任が中心となって就園などの相談を行っています。また、相談事業を通じて地域の子育て支援ニーズを把握する段階までには至っていません。園では、今後の課題として相談事業の開催日程・方法等について検討しています。 ・区の幼保小の交流事業には必ず参加し、地域の子どもを取り巻く環境について情報交換をしています。 ・地域の子育てニーズについては、職員会議の中で定期的に話し合っています。月2回の園庭開放は、年齢・人数の制限をなくし、より多くの人のニーズに合うようにしています。他に一時保育(緊急一時保育)を実施しています。 ・地域住民に向けて、子育て支援のための講座を開催しています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の掲示板には育児支援についての情報を掲示し、育児相談も実施しています。 ・「めいとくだより」を作成し地域に配布して、行事の紹介など園の活動や、保育の様子を知らせています。 ・関連機関・地域の団体のリストがあり、必要な時に職員が閲覧できるようになっており、関わり方についてはマニュアルに明文化されています。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・当園は、開園当初から積極的に地域開放・地域コミュニティへの働きかけに取り組んできています。 ・園庭で開催する「七夕・夏まつり」には、地域の人が多数来園しています。また、自治会主催の「秋まつり」には、毎年、保育士と栄養士が「やきそば作り」を担当しています。この行事には、園として備品の貸し出しも行っています。 ・子どもたちは、日々の散歩や、お泊まり保育でのお買い物体験で、地域の人達と挨拶を交わすなど交流を深めています。 ・近隣の釜利谷南小学校とは、毎年、年長児交流会を行っています。また、小学校の行事である運動会や、フェスティバルには園として参加しています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の利用者が関心のある園の情報は、パンフレットやホームページで、随時提供しています。法人として管理しているホームページでは、財務諸表も公開しています。 ・横浜市マニラ友好委員会による行事「ドングリを植える会」に参加した際、新聞に掲載され、ケーブルテレビでも放映されました。 ・園の利用希望者の問い合わせに対しては、園長又は主任が常時対応し、見学希望は保育に支障をきたさない範囲で受け入れています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・実習の受け入れについては「実習生（ボランティア）受け入れマニュアル」により対応しています。受け入れにあたっては、職員に主旨を説明し、保護者へも伝えていきます。受け入れと育成は、園長及び主任が担当しています。 ・必要に応じて、ボランティアや実習生の意見や感想を園の運営に反映させる仕組みになっています。 ・「実習生（ボランティア）記録」を整備して、必要な事項を記録しています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念・方針を踏まえた保育を実施するよう、職員個々の希望も加味した研修計画を策定して、必要とする人材の育成を行っています。 ・「人材育成マニュアル」に基づき、非常勤職員も含めて、必要とする園内研修・園外研修を計画しています。園外研修の成果は報告書にまとめ、職員会議において報告・回覧して、知識の共有化を図っています。 ・非常勤職員に対しても、常勤職員同様「業務マニュアル」を配布して、業務内容の統一化を図っています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルの段階に合わせて、計画的に技術の向上に努めています。 ・職員は、乳児会議・幼児会議、幹部会議、勉強会等を通して、知識の共有化と資質の向上につなげています。 ・更に、職員は、目標管理シートを使用して自己評価を行い、資質の向上に努めています。 ・さまざまな外部の研修にも積極的に参加して資質の向上につなげています。 ・外部から保育園の先生を招き、保育技術の評価・指導等を受ける取り組みも行っています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の適性・経験・能力に応じた役割が明確に示されて、子どもの状況に応じて、職員が自主的に判断できるように、職員には個人の責任・権限を明確にしています。 ・職員は個人目標シートの提出、および年2回の園長面接を通して、要望や希望を伝える仕組みになっており、職員からの業務改善等の提案は、検討され、実施に移されています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者として守るべき法・規範・倫理等は、会議などを通して職員に周知され実践されています。同時に、「業務マニュアル」に明記しており、職員は日々の業務の中で理解を深めています。 ・裏紙の使用、ゴミの分別などのゴミ減量化、牛乳パックの再利用や古タオルからの雑巾縫製などのリサイクル、エアコンの温度調節、電灯をこまめに消すなどの省エネルギーの促進等々、環境への配慮に努めています。 ・経営・運営等に関わる情報は、職員会議の中で説明し、園の沿革、決算報告等の経営情報を、ホームページにて積極的に公開しています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や保育目標は園内に掲示し、職員必携の「業務マニュアル」にも明記して全職員への周知を図っています。また、理念・目標は、職員会議等を通して、適宜、園長が解説を行い、職員は理解を深めています。 ・保育園に関する重要な課題については、関係職員・保護者等も意見交換を実施して対応しています。 ・主任はフリーの立場で各クラスに入り、個々の職員の業務状況を把握すると共に、各種の会議や話し合いの場を通して、職員の業務状況を把握し、職員の能力や経験に合わせ、的確な助言や指導を行っています。また、主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるように、具体的な種々の配慮を行っています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、行政との連携や地域活動等に積極的に参画し、必要な情報の収集を行っています。また、運営法人の理事長は、横浜市私立保育園連盟の副会長の職にあり、積極的に事業運営に影響のある情報を収集し分析しています。これらの情報は、毎月の職員会議で説明され、共有化されています。 ・保育園運営に関して、中長期的な計画を策定して事業を展開し、計画的な後継者の育成を行っています。 ・電子決済システムの導入により、系列園3園をネットワークでつなぎ、業務量の省略化、情報共有の迅速化を図っており、新しい保育運営の形態を日々構築しています。 ・社会保険労務士の業務協力、税理士による会計チェック等により、運営に関して外部の機関や専門家の指導・意見等を取り入れる努力をしています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年12月1日～12月15日
- 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に配付(手渡し)
同封の返送用封筒にて評価機関宛、無記名で返送
- 3、回収率 61.5パーセント（配布総数96枚、回収数59枚）
- 4、所属クラス 0歳児7人、1歳児11人、2歳児17人、3歳児9人、4歳児9人、5歳児6人、無回答0人
同一家族で複数名が園に在籍の場合には、下の園児のクラスについて回答。

設問ごとの概要

【問1】 保育園の保育目標や保育方針について

71%の保護者が園の保育目標や保育方針について知っています。“知っている”と回答した保護者の98%が「目標や方針に賛同できる」と回答しています。“知っている”と回答したほとんどの保護者は目標・方針について賛同していますが、一方で、“知らない”“どちらとも言えない”と回答した保護者が25%を占めています。 数値71%は、「よく知っている」「まあ知っている」を合わせたもの。

数値25%は、「どちらとも言えない」「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせたもの。

【問2】 入園する時の状況について

7項目全体として保護者は、60～90%の満足です。「お子さんの様子や生育暦などを聞く対応」「保育園での1日の過ごし方についての説明」は高い満足度ですが、「見学の受け入れ」「入園時の面接について」は満足度が低い値となっています。自由記入欄には、“丁寧に説明して頂いた”、“柔軟に対応して頂いた”、との感謝の言葉がありますが、一方、“保護者の意見を聞いて欲しい”、“保護者の気持ちを汲み取って欲しい”、との記述も見られます。

数値60～90%は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたもの。以下同様。

【問3】 年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」、「保護者の要望が活かされているか」について、80%強の保護者が満足しています。自由記入欄には、“種々考慮して行事を計画・実施して頂いている”と、園の取り組みに感謝の言葉が見られます。

【問4】 日常の保育内容について

「遊び」についての5項目には、95%以上の保護者が満足しています。自由記入欄には、“いろいろな遊びを経験させてもらっている”、“おもちゃが増えて良かった”、“体力作りに力を入れてくれる”、と「遊び」について、満足している記述が見られます。

「生活」についての6項目は、83～97%の満足度ですが、「けがに関する保護者への説明やその後の対応」については、12%の不満足回答が見られます。

数値12%は「不満」「どちらかといえば不満」を合わせたもの。以下同様。

【問5】 快適さや安全対策について

4項目全体として、80%強の保護者が満足しています。自由記入欄には、保護者からの要望もあって設置した玄関の施錠システムに対し、“改善されて安心です”との声が寄せられています。尚、感染症に対する心配の声がみられます。

【問6】園と保護者との連携・交流について

「園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供」については、95%の高い満足度ですが、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」については、29%の保護者が不満足と回答しています。自由記入欄には“懇談会の曜日を検討して欲しい”、“(定期的な)個人面談を設けて欲しい”などの要望が出されています。

また、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」「保護者からの相談事への対応」については、それぞれ14%、15%の不満足があります。自由記入欄には、“子どものことでもっと話しを聞きたい”との希望が出されています。

【問7】職員の対応について

「お子さんが大切にされているか」については98%、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、95%の保護者が満足しています。保護者は園に対して高い安心感、信頼感を持っていることがうかがえます。

「アレルギー・障がいのある子どもへの配慮」について「その他」の回答が22%となっていますが、これは、“よく分かりません”という回答が多く含まれているためです。

「不満や要望を気軽に言えるか」、「不満や要望への対応について」は不満足回答がそれぞれ14%、17%となっています。

【問8】総合的な評価について

95%の保護者が満足しています。

結果の特徴

- ◇ 園の基本理念や基本方針については、懇談会などの機会を捉えて、更に保護者への説明が望まれます。
- ◇ 入園時の対応については、5年前の開設当初、準備が不十分な時の状況も含まれているかと思われるが、不安な気持ちを抱えている保護者の立場に寄り添う対応が望まれます。
- ◇ 「遊び」については、ほとんどの保護者が満足されています。「生活」についても高い満足度ですが、けがについての保護者への説明については、更に細やかな対応に努めることが望まれます。
- ◇ 快適さや安全対策については、高い満足度ですが、不審者侵入に対する備え、感染症対策などについては、引き続き取り組むことが望まれます。
- ◇ 年3回の保護者懇談会の開催時期や時間、現在の個人面談のあり方、登降園時の情報交換、などについて検討が望まれます。
- ◇ 園は、保護者とのコミュニケーションには、日々努めているところですが、更に努力と工夫が望まれます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

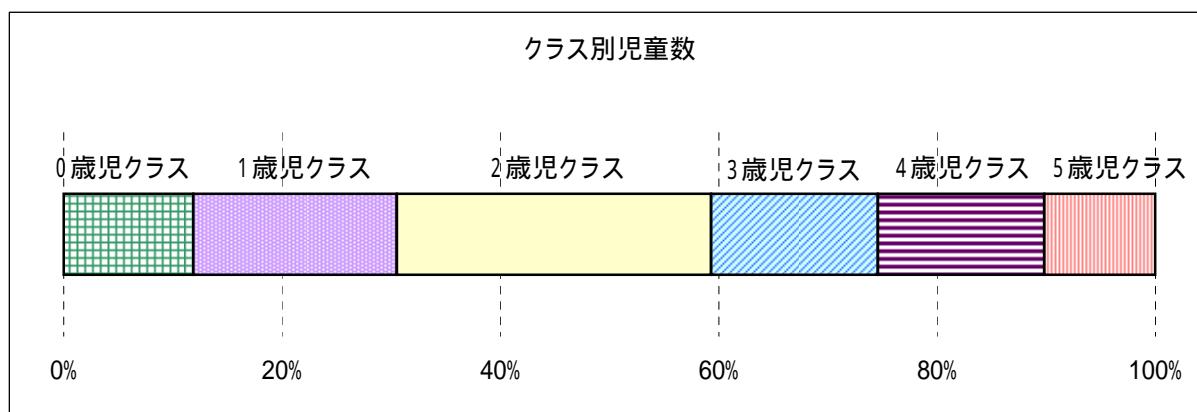
実施期間：2006年 12月1日～15日

回収率：61.5% （回収数 59枚 / 配付数 96枚）

【属性】

クラス別児童数 同一家族で複数名が在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	合計
7	11	17	9	9	6	0	59



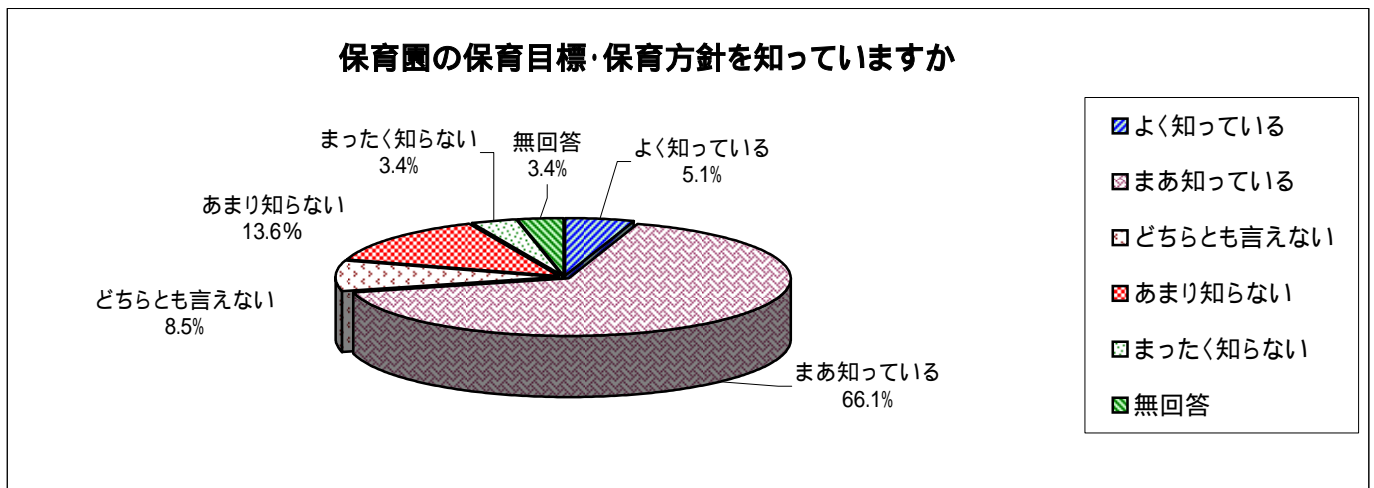
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	5.1	66.1	8.5	13.6	3.4	3.4	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

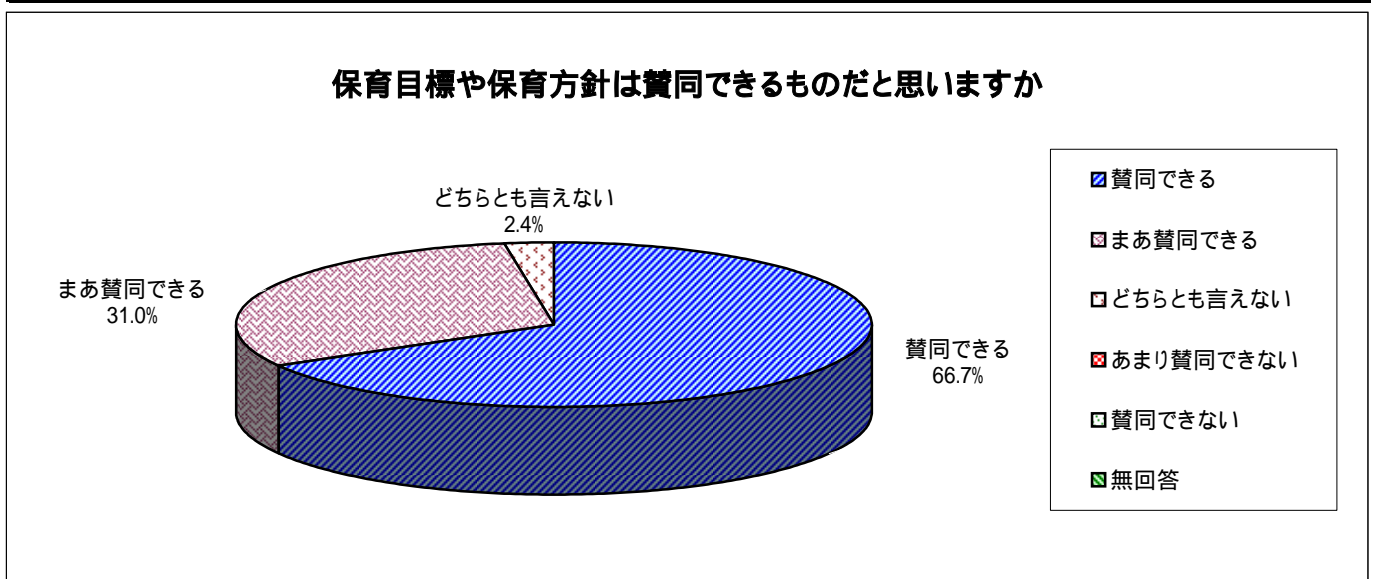


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

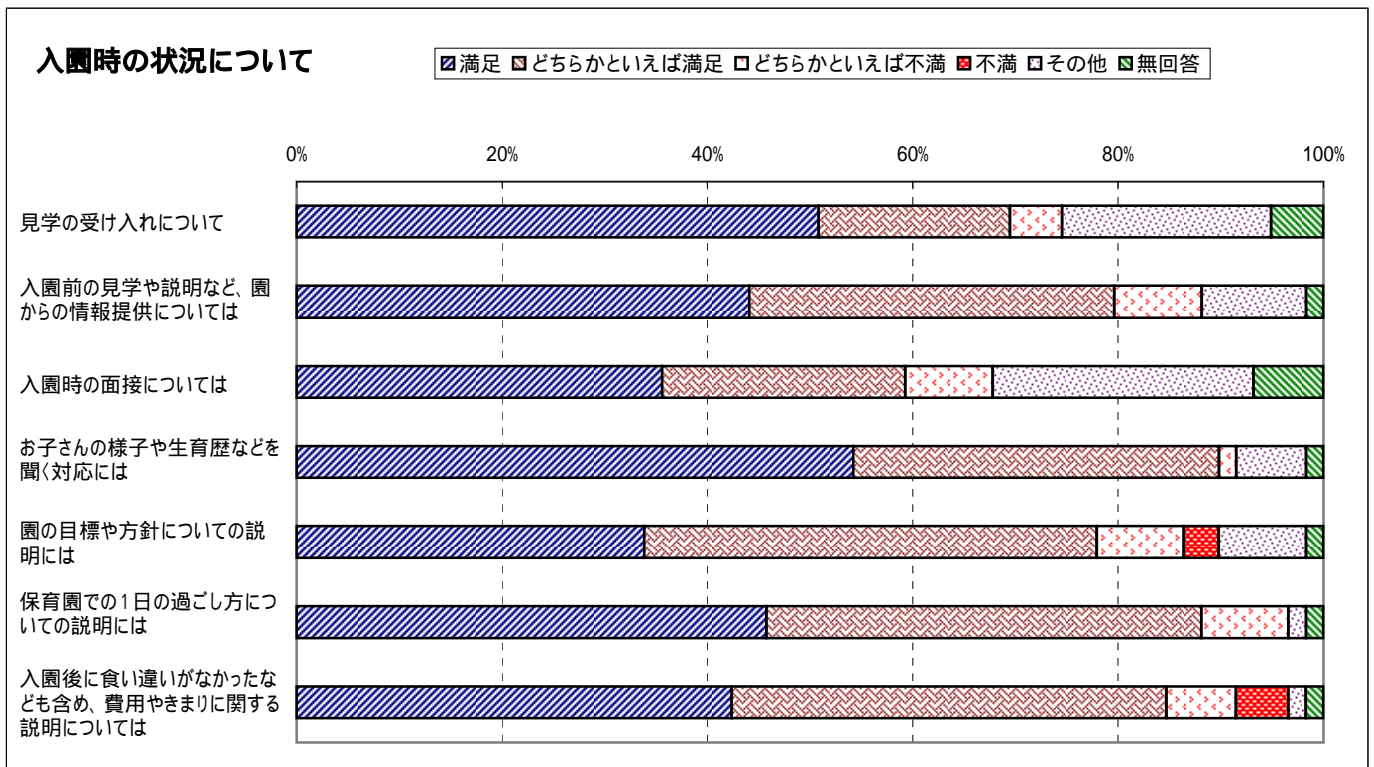
付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	66.7	31.0	2.4	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について 問2 入園時の状況について

(%)

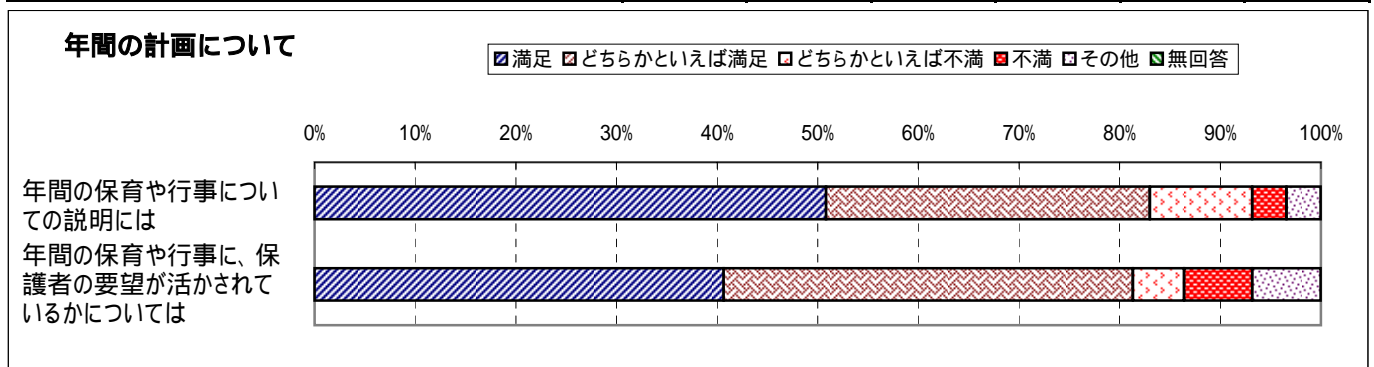
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	50.8	18.6	5.1	0.0	20.3	5.1	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	44.1	35.6	8.5	0.0	10.2	1.7	100
入園時の面接については	35.6	23.7	8.5	0.0	25.4	6.8	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	54.2	35.6	1.7	0.0	6.8	1.7	100
園の目標や方針についての説明には	33.9	44.1	8.5	3.4	8.5	1.7	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	45.8	42.4	8.5	0.0	1.7	1.7	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	42.4	42.4	6.8	5.1	1.7	1.7	100



問3 年間の計画について

(%)

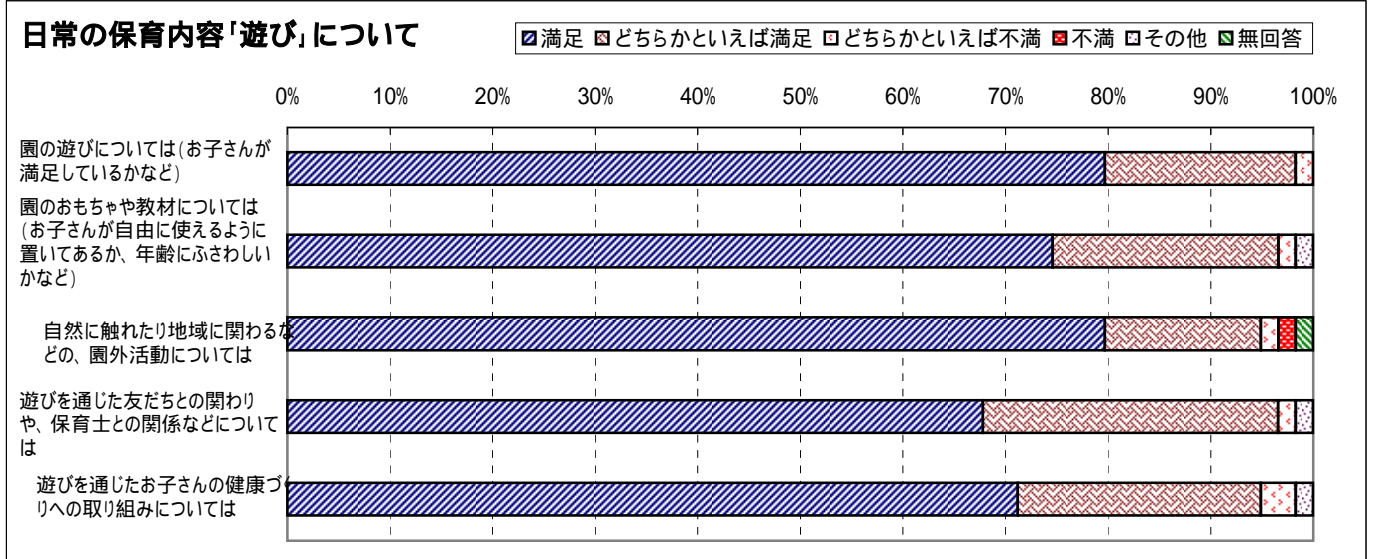
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	50.9	32.2	10.2	3.4	3.4	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	40.7	40.7	5.1	6.8	6.8	0.0	100



問4 日常の保育内容について

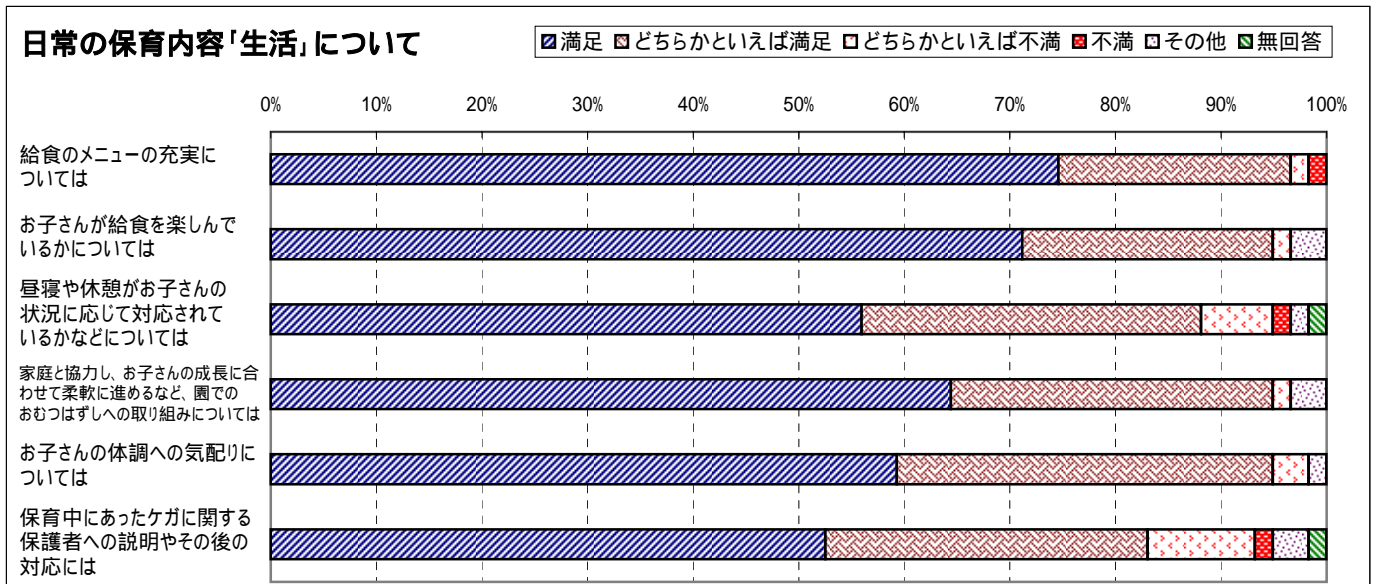
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	79.7	18.6	1.7	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	74.6	22.0	1.7	0.0	1.7	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	79.7	15.3	1.7	1.7	0.0	1.7	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	67.8	28.8	1.7	0.0	1.7	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	71.2	23.7	3.4	0.0	1.7	0.0	100



(%)

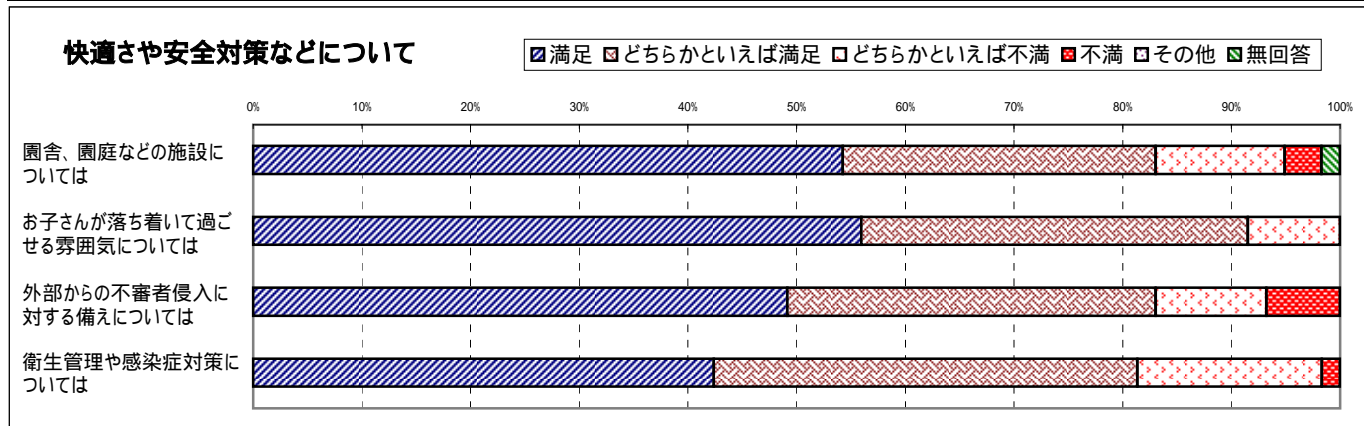
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	74.6	22.0	1.7	1.7	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	71.2	23.7	1.7	0.0	3.4	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	56.0	32.2	6.8	1.7	1.7	1.7	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	64.4	30.5	1.7	0.0	3.4	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	59.3	35.6	3.4	0.0	1.7	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	52.5	30.5	10.2	1.7	3.4	1.7	100



問5 快適さや安全対策などについて

(%)

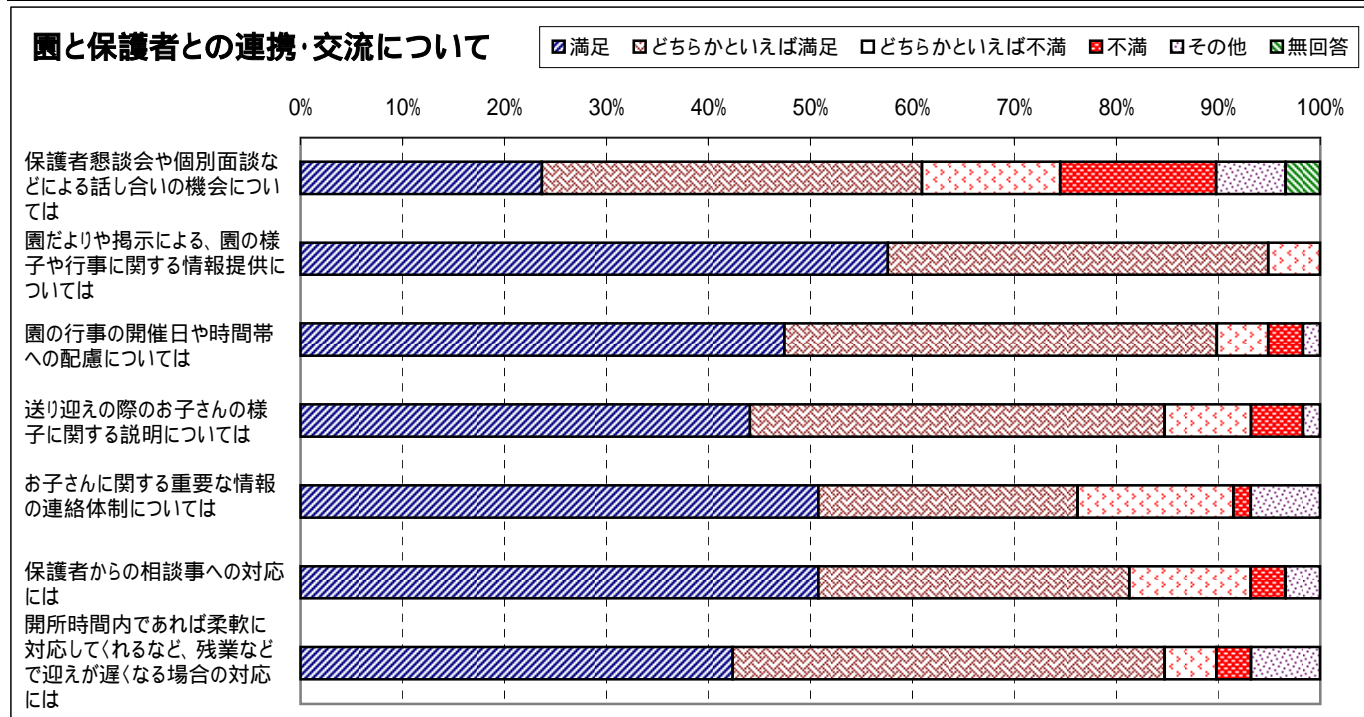
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	54.2	28.8	11.9	3.4	0.0	1.7	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	55.9	35.6	8.5	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	49.2	33.9	10.2	6.8	0.0	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	42.4	39.0	17.0	1.7	0.0	0.0	100



問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	23.7	37.3	13.6	15.3	6.8	3.4	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	57.6	37.3	5.1	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	47.5	42.4	5.1	3.4	1.7	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	44.1	40.7	8.5	5.1	1.7	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	50.8	25.4	15.3	1.7	6.8	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	50.8	30.5	11.9	3.4	3.4	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	42.4	42.4	5.1	3.4	6.8	0.0	100



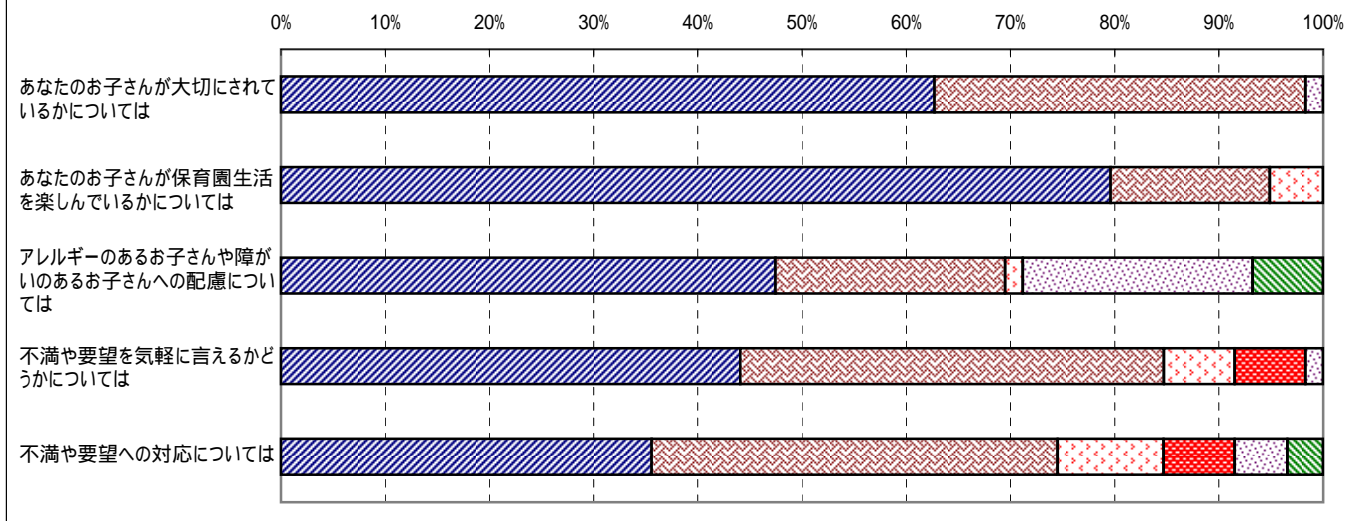
問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	62.7	35.6	0.0	0.0	1.7	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しまれているかについては	79.7	15.3	5.1	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	47.5	22.0	1.7	0.0	22.0	6.8	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	44.1	40.7	6.8	6.8	1.7	0.0	100
不満や要望への対応については	35.6	39.0	10.2	6.8	5.1	3.4	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

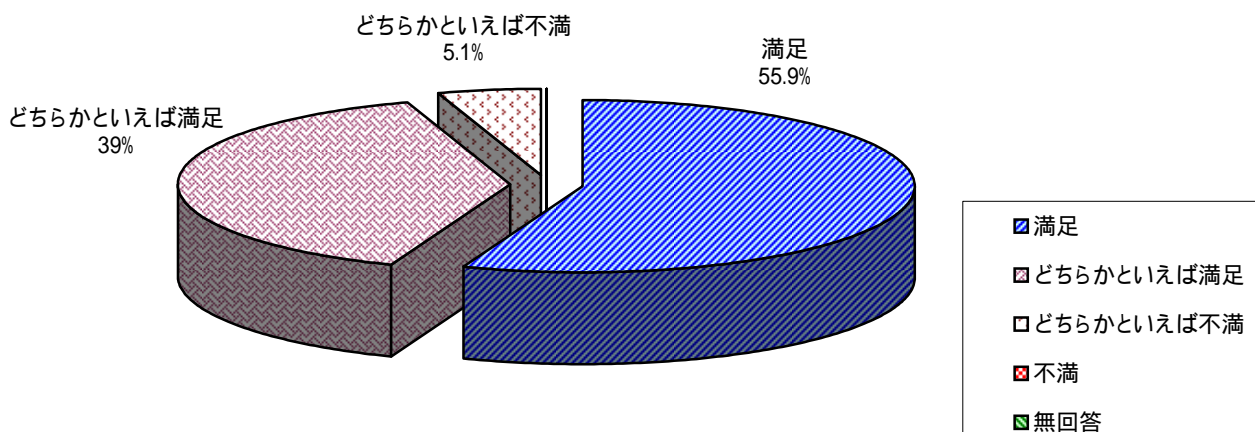


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	55.9	39.0	5.1	0.0	0.0	100

総合満足度



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査： 2007年3月19日（月）、3月22日（木）

聞き取り調査： 5歳児以上の園児を中心に、給食時および散歩時に実施

1. 遊びについて

園の周囲には公園がいくつもあり、全クラス、毎日散歩に出かけます。子どもたちは「バスケットゴール」「石でできた長い滑り台」など、遊びたい遊具や行きたい公園をリクエストし、目的地を決めて出かけています。

5歳児は20分程歩き、遠くの公園に行きました。遊歩道では「よーいドン」で一斉に走ったり、リスが食べたマツボックリを「エビフライ」と呼んで捨ったりしました。犬の散歩の人にも気軽に挨拶をしています。公園では2グループに分かれ、ドッチボールをしました。グループごと作戦をたて、保育士が審判をしながら上手にリードし、全員が思いきり遊びました。滑り台・雲ていなどの固定遊具に何回も並んで遊びました。4歳児は、大きな鯉のいる小川を見ながら、歩いて公園に行きました。遊びに入る前、保育士は公園のゴミを拾い安全を確認しました。子どもたちはブランコ・滑り台・雲てい・鉄棒・シーソーなど好きな遊具で遊びました。砂場に来た近所の子どもとも一緒に遊びました。2歳児は散歩に出かける時の点呼は、この日は英語でしました。保育士と一緒に「ワン、ツー、スリー」と15まで数えられますが、この日の出席は12人で「トゥエルブ」まで声を揃えて数えました。一斉活動では、元気よく、楽しそうに手遊びや歌を歌っていました。1歳児は保育士が「べんとう箱の歌」「ウルトラマンの・・・」「なっとう納豆ねーばねば！」と歌いながら手遊びを始めると、一緒に始め、決めのポーズを取ります。0歳児は保育士を囲むように椅子に座り、パネルシアターを使ってのお話を聞きました。保育士が「ふあふあ、もこもこ、ころり、ふうー」など音を入れながら、動物の絵と大小のシャボン玉をパネルに張っていくと、子どもたちは一緒に声をあげていました。その後、4人乗りバギーと立ち乗りバギーに乗り、数人の子どもは保育士に手を引かれながらゆっくり歩いて公園に行きました。綺麗な色のボールを追いかけたりシャボン玉をしたりして遊びました。散歩ではパン屋の前を通り、挨拶したり、道行く地域の人に声を掛けられたり、道路を通るバスやタクシーに手を降りました。

夕方、お迎えが来るまでの時間、3、4、5歳児がコーナーで自分の好きな事をして遊んでいました。ままごと遊びに集中する子、絵を描く子、トレーシングペーパーで絵本から写し絵をする子もいました。保育士と一緒に輪投げをする子ども達もいて、年齢の違う子どもが自然に交流をしていました。また、道具を大切に使う様子がみられました。

2. 食事について

3、4、5歳児はランチルームで昼食を取ります。六角のテーブルには生花が飾られ、子どもたちはクラスごとに好きな席に座り、お喋りしながら楽しそうです。配膳は、保育士が食器に盛り付け、お当番の子どもが配りました。栄養士が前に立ち、ホワイトボードを使って献立を読み上げながらクイズを出しました。「油あげは何でできているか？」（観察2日目は「なるとは何でできているか？」）答えは3択で、子どもたちは興味深くクイズに取り組んでいました。どの年齢の子どもも良く食べ、残食はほとんどありません。お代わりタイムには栄養士が前のテーブルに座り、子どもに話しかけながら、ご飯やおかず、スープをよそっています。園では3歳児の初めの頃より少しずつ食事のマナーや配膳を覚えることができるように、保育士がそれとなく見本を見せるようにしており、その結果、ご飯やおかず、汁物をバランス良く食べる三角食べや、箸の使いかた、配膳の仕方が無理なく身につけている様子が見られました。

2歳児は2グループに分かれ、それぞれ保育士が1人ついて食事をしました。箸を使うことに慣れ、最後まで箸で食べられる子が増えています。1歳児クラスは保育士の介助が少なくなってきました。三角食べに慣れ、ほとんど一人で食べることができます。保育士が「もぐもぐ」「ごっくん」「おいしいねー」「きれいにたべたねー」など、声をかけています。0歳児は月齢により、一人ひとりの子どもに合わせた配慮がされています。スプーンを上手に使う子ども

もいます。

3.排泄について

4、5歳児は、散歩に行く前に保育士から「お手洗い行って下さいね。」と言われます。子どもたちは「帽子、ジャンパー、お手洗い・・・」と唱えながらトイレを済ませ、外出の準備をしました。散歩の途中に保育士の声掛けで、公園のトイレに寄った子もいました。保育士は一人ひとりに合わせて、それとなくトイレの案内をしています。散歩から園に帰った時も保育士は「ランチルームで待ってるね。いつものように済ませて下さい。」と言い、子どもたちは「靴、帽子、手洗い、うがい、お手洗い・・・」と唱えながら、全部自分で済ませてランチルームに行きました。

2歳児と3歳児は、それぞれ保育士の促しに、一斉にトイレに行きました。自分でトイレに座りトイレットペーパーも使えます。

1歳児のトイレは保育室の隣で、散歩の前に、背の低いパーティションで仕切った中で保育士にパンツを脱がせてもらいます。一人ずつトイレの中の保育士の所に行き、トイレに座ります。「でたー！」という子がいました。保育士はニコニコしながら抱きとめ、一緒に喜びました。終わってパンツをはく子、順番待ちの子に、保育士は歌を歌ったり手遊びしたりして、楽しい雰囲気になりました。0歳児は月齢によって差があり、保育士は連携を取り合いながら、個別に対応しています。一人ずつ便器に座り、排尿があった子には誉めました。パンツを自分ではこうとする子に「偉いね」と声掛けしました。

4.清潔・健康について

散歩から帰っての手洗いとうがいは、子どもたちに任せていました。

食事の時、保育士はエプロンを着替えます。エプロンは毎日洗濯し、衛生面で徹底しています。

オムツ替えの時は、保育士はゴム手袋を使用しています。手洗い場には「石鹸手洗い後、ウェルパス消毒」「手袋使用忘れずに」と張り紙があり、清潔に過ごすため注意事項が周知されています。

5.いやな思いへの対応や権利を守ることについて

子ども達の間では、よく意見の衝突が起きます。そんな時、保育士は子ども達の様子を良く観察しています。保育士が間に入って、お互いの話を聞き、気持ちが落ち着く時間を取って、子どもたちに考えさせる時間を作っています。5歳児になると問題が複雑になっていることもあります。自分達の言い分を言葉で表現できるように、保育士が言葉を添えますが、できるだけ自分達で解決できるようにしています。保育士は子どもの目の高さにしゃがみ、目を合わせて子どもの話を聞いています。

6.職員について

保育士は子ども達には常に穏やかで優しく接し、分かりやすい言葉で話しかけています。保育士と子ども達の会話は話題豊富です。保育士の知識量は多く、漫画の主人公、歌、テレビの話題、花、虫、鳥、動物、遊び、何でもクイズにして子ども達を飽きさせません。「お話してもいいですか。」と保育士が話し始めると、子ども達は手を止めて、声を揃えて「いいですよ。」と答え、静かに話をききます。

保育士は、送迎時はできるだけ保護者に話しかけています。保護者の話をしっかりと受け止めている様子がうかがわれました。

まとめ

子ども達は素直で穏やかな表情で、落ち着いた園生活を送っています。保育士は子ども達の話し方や表情を観察し、適切な声掛けをしています。保育士が子どもの気持ちを尊重し、しっかりと受けとめているので、子どもが安心して過ごしています。保育士同士は仲が良く、全ての場面で良く連携が取れています。

事業者意見

明德釜利谷保育園

当園は、開設して5年目ですが、当法人で明德二俣川園を平成19年度に開設したために、園長はじめ職員の異動もあり、不安な状況での第三者評価受審となりました。第三者評価の内容は期待水準が高く、最初は職員間でもとまどいがみられましたが、評価受審にあたっての準備を職員全員で行い、課題の整理、認識の共有化などを行う段階で多くのことを考え、実践できたことを感謝しております。また、評価を受けたことで自信にもつながり、課題も明らかになり、さらなるお子様方の成長のために努力を続けていきたいと思っております。

調査員の方々には、非常に丁寧な保育の観察や資料の確認をしていただき感謝しております。やわらかい雰囲気醸しつつ調査に入ってください、またこちらからのお話をきちんと聞いてくださったことで、普段の保育の様子を見ていただくことができたと感じております。

利用者家庭のアンケートについては、短い時間にもかかわらず61.5%の回収率で、満足度についても94.9%という高い評価をいただき、職員一同大変うれしく思いました。

現状には慢心することなく、真摯にお子さまの成長のために今後も努力して参ります。今回受審にあたり、職員一同忌憚のない意見交換ができ、いい雰囲気の中で努力する、考える時間が共有できたことに感謝しております。